

ラトビア月報

【2015年6月】



2015年（平成27年）7月発行
在ラトビア日本国大使館
<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ラトビア国会，次期大統領にベーヨニス国防相を選出（P. 1）

【経済】

- ・ロシアはラトビア産の魚製品に対する禁輸措置を導入（P. 2）

【外交】

- ・ラトビアはEU議長国としての任務を終了（P. 4）

【日本との関係】

- ・ラトビア大学で日本祭りを開催（P. 7）
- ・リガで落語の公演を開催（P. 8）

※「ラトビア月報」は，ラトビアにおける政治・経済状況等について，ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料を取りまとめたもので，在ラトビア日本大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

—政治—

【今月の注目記事】

◆ラトビア国会、次期大統領にベーヨニス国防相を選出

6月3日、臨時国会において大統領選挙が実施され、ライモンツ・ベーヨニス国防相（与党「緑と農民連合」所属）が次期大統領に選出された。大統領候補者としてはベーヨニス国防相のほか、ボンダルス議員（野党「ラトビア地域連合」党首）、ドルゴポロウス議員（親露野党「調和」幹部）、レビッツ欧州司法裁判所判事（与党「ナショナル・アライアンス」推薦）の4人が擁立されていた。（その後、ベーヨニス新大統領は7月8日に就任した。）

◆ドレイマネ首相府長官の辞意表明

6月1日、ドレイマネ首相府長官は6月12日に辞任を表明した。同長官は、ラトビア憲法擁護局により今年4月に国家機密取扱資格が剥奪されたことを受け検事総長に不服を申し立てていたが、5月29日に同申立てが却下されたため辞任を決断。同人にはこれまで合計14年以上同資格が付与され、2011年より首相府長官を務めていた。

◆ムイジュニエクス・ラトビア大学副学長が次期学長に

6月4日、ラトビア大学の次期学長にムイジュニエクス副学長（微生物学教授）が選出された。同氏は、学習プログラムの近代化や留学生の受入れ推進等、同大学のこれまでの方針を継続するとしている。

◆国防相候補にベルグマニス氏

ベーヨニス国防相の次期大統領就任（7月8日）に伴い、6月8日、与党「緑と農民連合」は同党所属のベルグマニス国会議員を次期国防相候補として擁立した。ストラウユマ首相も本件を了承し、連立与党会合においても同人の推薦で大筋合意した。（その後、ベルグマニス議員は国会の承認を経て7月8日に国防相に就任した。）

◆国際獣疫事務局はラトビアを狂犬病清浄国と認定

6月10日報道によると、ラトビアでは2012年を最後に狂犬病の発生が確認されていないとして、国際獣疫事務局（OIE）はラトビアを狂犬病清浄国として認定した。

ラトビア食品獣疫局によると、1991年以降ラトビアではヒトの狂犬病発症が3件確認されているが、最後に確認されたのは2003年であった。動物の狂犬病発症は5,899件で、うち78.5%は野生動物（主にキツネやタヌキ）の感染、17.4%はイヌやネコなどによる事例であった。バルト三国では、エストニアが2012年に狂犬病清浄国として認定されている。

◆ダウガウピルスでアフリカ豚コレラの感染を確認

6月17日報道によると、ラトビア南東部ダウガウピルスの農場で飼育されていた豚18頭のアフリカ豚コレラの感染が確認された。ラトビア食品獣疫局は感染拡大防止のため検疫区域を設けるなどの対策を立てている。ラトビアではアフリカ豚コレラの感染拡大により、昨年7月から今年1月まで国内の広範囲で非常事態宣言が発出されていた。

◆観光客向け「リガ・カード」の導入

6月25日報道によると、リガ観光開発局は、リガ市内の公共交通機関の乗車が無料となる「リガ・カード」の導入を決定した。同カードにはリガ市内の観光バスツアーや旧市街散策ツアーが含まれるほか、市内の様々な施設への入場や遊覧船の利用等が割安となる。1日、2日、3日券の3種類があり、価格はそれぞれ25、30、35ユーロ。また、リガ市内の複数のレストランで同カードを提示すると10～20%の割引となる。

◆経済危機の影響を受けた年金を増額

6月18日、国会は、経済危機の影響で減額された年金を2016年より増額することを定めた改正国家年金法を採択した。同法は2010年1月1日から2015年12月31日までに年金受給を開始または再計算された者を対象とする。また、将来的に経済状況が悪化した際の年金額の減少を防ぐための制度も導入された。



【今月の注目記事】

◆ロシアはラトビア産の魚製品に対する禁輸措置を導入

(1) 6月4日からの禁輸を決定

ロシアの食品衛生当局「Rosselkhoz nadzor」は、6月4日より、ラトビア産の全ての魚製品のロシアへの輸入を一時的に差し止めることを決定した。今回の決定は、ラトビアの魚製品から基準量を超えるベンゾピレン(タバコの煙や燻製食品などに含まれる発がん性物質)が検出されたことが原因とされている。

これに対し、ラトビアの食品獣疫局は、製品の製造過程が改善されたことを示す報告書を2か月以内にロシア側に提出することになっている。

(2) ラトビア経済への影響

6月10日、ドゥークラウス農業相は、ロシアによるラトビア産魚製品の輸入差止めにより、ラトビアの魚加工産業は1～2億ユーロの損失を被る可能性があると述べた。

(3) ラトビア政府の対応

6月11日、ラトビア国会は、今回の禁輸により被害を受けた魚加工企業に対する納税期限の延長を定めた改正税法を採択した。

（４）リエパーヤの魚缶詰工場が従業員２２５人を解雇

6月9日、ラトビア西部の港湾都市リエパーヤの魚缶詰工場「Kolumbija」は、ロシアによる禁輸措置の影響で、300人以上いた従業員のうち225人を解雇したことを明らかにした。同工場は今年の秋頃に生産を再開できることを望んでおり、それまでは従業員数を60人程度に抑えるとしている。

◆リガ市の不動産税の引上げ

6月1日、リガ市は、2016年よりリガ市の不動産税を引き上げるとともに、子どもがいる家庭に対する免税措置を拡大することを決定した。土地税は土地価格の1%から1.5%に引き上げられるが、子どもが1人いる家庭には約50%、2人いる家庭には約70%の免税が適用される。また、登録された居住者のいない土地に対する税率は現行の0.2~0.6%から1.5%に引き上げられることとなった。現在、リガには居住者登録のないアパートが3万8千あるとされ、新制度は居住者に登録を促し、住民税による市の歳入が増加するとみられている。

◆5月のインフレ率は1.2%

6月8日、中央統計局は、5月の消費者物価上昇率は対前年同期比1.2%であったと発表した（物品価格は0.4%、サービス価格は3.2%上昇）。過去12か月間の平均物価上昇率（対前年同期比）は0.6%。

物価上昇が特に著しかったのは住宅関連価格（5.4%増、電気代や水道代等の上昇が原因）やホテル・レストラン（3.2%増）など。一方、輸送燃料の下落（11.3%）を受けた運輸部門などでは物価の下落が見られた。

◆29%の企業が賃上げを計画

6月15日報道によると、調査会社SKDSとツィタデレ銀行が行った調査で、ラトビア国内の企業の29%が今年中に給与の増額を計画していることが明らかになった。従業員が多い企業ほど増給を予定している割合が高く、従業員250人以上の企業は58%、10人未満の企業は26%が増給の予定だと回答した。ボーナスについては、従業員250人以上の企業の54%、10人未満の企業の18%が支給を計画している。

◆アルコール税の引上げ

6月18日、国会は、2015年8月1日からアルコール税を引き上げることを定めた改正税法を採択した。同法によると、ビール税は100リットルあたり3.1ユーロから3.8ユーロに（22.6%増）、ワイン税は100リットルあたり64.03ユーロから70ユーロに（9.3%増）引き上げられる。

その他の発酵酒については、アルコール度数が6%未満の飲料に対する税率は100

リットルあたり64.03%のままで、度数が6%以上の発酵酒の税率は100リットルあたり70ユーロに引き上げられた。改正法は、ラトビア国産の果物やベリー類を用いたアルコール度数の低い発酵酒（サイダー等）のバルト三国における競争力強化を目的としている。

◆欧州委員会はレール・バルティカ計画に5.4億ユーロの出資を決定

6月29日報道によると、欧州委員会はバルト三国を縦断する鉄道建設計画「レール・バルティカ」プロジェクトに対し、5億4000万ユーロを出資することを決定した。これを受け、2016年より鉄道の建設が開始される見込み。

◆ラトビア運輸相がエア・バルティック社株式のバルト諸国への売却を提案

6月22日、マティース運輸相はエストニア及びリトアニアの運輸相と会談し、両者にラトビア国営航空会社「エア・バルティック」の株式の売却を提案した。両運輸相はこれに関心を示したものの、具体的なコメントは控えた。ラトビア運輸省は8月までに両国に具体案を提示する予定。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアはEU議長国としての任務を終了

6月30日、ラトビアは2015年上半期のEU議長国としての任務を終えた。同日、ラトビア政府はEU議長国としての成果を総括する公式文書を承認した。同文書に記された主な成果は以下の通り。

- (1) 欧州戦略投資基金に関する合意
- (2) エネルギー連合創設に向けた協議開始
- (3) デジタル単一市場形成に向けた通信等に関する法案策定
- (4) EU内の安全保障及び移民問題等に関する迅速かつ効率的な対応
- (5) EU東方パートナーシップ諸国及び中央アジア諸国との関係強化

ラトビアは、EU議長国を担うにあたり、①競争力のあるヨーロッパ、②デジタル化されたヨーロッパ、③深く関与したヨーロッパ、の3つの優先事項を示していた。EU議長国期間中、ラトビアは10の非公式大臣会合を含む174の会議を主催した。

◆リンケービッチ外相のアラブ首長国連邦訪問（6月1日～2日）

6月1日～2日の間、リンケービッチ外相はアラブ首長国連邦を訪問し、1日、アブダラー外相、スルタン経済相、ルブナ国際協力開発相等とそれぞれ会談した。両国は政治、経済、文化・教育分野における二国間関係強化、イランの核問題等を含む国際情

勢等に関して協議した。また、リンケービッチ外相は在アラブ首長国連邦ラトビア大使館を正式に開館した。

◆**リンケービッチ外相の訪仏（6月3日～4日）**

6月3日～4日の間、リンケービッチ外相はフランスを訪問し、OECD閣僚会合に出席した。また、3日、グリアOECD事務総長と会談し、ラトビアのOECD加盟プロセスに関して協議した。リンケービッチ外相は、2015年末までに技術的な対話プロセスを終了し、ラトビアは2016年中にOECDの正規メンバーになる見込みであると述べた。

◆**リンケービッチ外相のEU・CELC外相会合出席（6月9日）**

6月9日、リンケービッチ外相はブリュッセルを訪問し、EU・CELC（ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体）外相会合に出席した。リンケービッチ外相は演説において、経済及びエネルギー分野におけるEU・CELC間の関係強化が必要であるとした上で、欧州戦略投資基金及びエネルギー連合が同分野で重要な役割を果たすと述べた。

また、リンケービッチ外相はミード・メキシコ外相と会談し、二国間の航空協定締結に関心を示した。

◆**ストラウユマ首相のEU・CELC首脳会合出席（6月10日～11日）**

6月10日～11日の間、ストラウユマ首相はブリュッセルを訪問し、EU・CELC首脳会合に出席した。10日のビジネス・フォーラムにおいてストラウユマ首相は、エネルギー分野における協力の重要性や再生可能エネルギーを利用したプロジェクト支援の必要性を述べた。

また、ストラウユマ首相はコレア・エクアドル大統領と会談した。両者は科学技術、経済、貿易分野における関係強化が必要であるとの見解で一致した。

◆**リンケービッチ外相のフィジー訪問（6月12日～16日）**

6月12日～16日の間、リンケービッチ外相はフィジーを訪問し、15日、クンブアンボラ外相と会談した。リンケービッチ外相はフィジー側に対し、全EU加盟国に査証免除制度を適用するよう要請した。

16日に行われた第29回EU・アフリカ・カリブ海地域・太平洋諸国議員会議において、リンケービッチ外相は移民問題、気候変動問題、テロの脅威等に関し演説し、移民問題については移民流出の原因の究明及び移民流出国との長期的な協力が必要であると述べた。

◆**バルト海地域のEU戦略に関する年次フォーラム開催**

6月15日～16日の間、リガ近郊の保養地ユールマラにおいて、バルト海地域のEU戦略に関する第6回年次フォーラムが開催された。同会合にはヴィクトリア・スウェーデン皇太子殿下、ストラウユマ首相、ブトケビチュウス・リトアニア首相、ドンブロウスキス欧州委員会副委員長（通貨・社会対話担当）等が出席した。同会合の主な議題は地域の競争力、デジタル単一市場、エネルギー、通信等。

同会合の枠内でストラウユマ首相はブトケビチュウス・リトアニア首相と会談し、バルト海地域の経済、エネルギー、安全保障等に関して意見交換した。

◆リンケービッチ外相のニュージーランド訪問（6月16日～17日）

6月16日～17日の間、リンケービッチ外相はラトビア外相として初めてニュージーランドを公式訪問し、グローサー貿易相、マックレイ外務・貿易副大臣等と会談した。両国は二国間関係や国際機関の枠内における協力等に関して協議し、リンケービッチ外相はEU・ニュージーランド間のFTA締結に支持を表明した。

◆リンケービッチ外相のオーストラリア訪問（6月18日～20日）

6月18日～20日の間、リンケービッチ外相はラトビア外相として初めてオーストラリアを公式訪問し、18日、ビショップ外相と会談した。両者は二国間関係やEU・オーストラリア関係等について協議し、2015年中に両国間のワーキング・ホリデー制度に関する協定に署名できるよう努力することで合意した。また、リンケービッチ外相は2016年中のラトビアのOECD加盟に支持を要請した。

◆ストラウユマ首相の臨時ユーロ圏首脳会合出席（6月22日）

6月22日、ストラウユマ首相はブリュッセルを訪問し、ギリシャへの金融支援問題を協議するための臨時のユーロ圏首脳会合に出席した。ストラウユマ首相は演説において、「ギリシャも他の国際金融支援を受けた国と同様に扱わなければならない。ギリシャは言葉だけでなく具体案を提出する必要がある。」と述べた。また、ラガルドIMF総裁に対し、2008年から2012年までのラトビアへの金融支援に謝意を表明した。

◆次期駐ラトビア米大使にペティト氏

6月24日、米国上院議会はペティト氏を次期駐ラトビア米大使として承認した。同氏は職業外交官としてウクライナ、ロシア、オーストリアの米国大使館での勤務経験があり、ロシア語、ウクライナ語、ドイツ語、スペイン語を話す。2013年より国務省西欧課長を務めていた。

◆リンケービッチ外相のレバノン訪問（6月24日～26日）

6月24日～26日の間、リンケービッチ外相はレバノンを訪問し、24日、非公式

の欧州近隣政策会合に出席した。同会合には中東諸国の外相のほか、ルクセンブルク外相、ハーン欧州委員会委員（欧州近隣政策・拡大交渉担当）等が出席し、移民問題、テロ対策等を中心とした欧州近隣国政策について協議した。

また、リンケービッチ外相はサラーム首相、ベリ国会議長、バシール外務・移民相と個別に会談した。

◆リガにおけるEU中央アジア諸国教育大臣会合

6月26日～27日の間、リガにおいてEU・中央アジア諸国教育大臣会合が開催された。会合には中央アジア5か国のほか、EU諸国、欧州委員会、欧州対外活動庁等の関係者が出席し、高等・専門教育機関分野での協力に関する行動計画を承認した。

◆コモロフスキ・ポーランド大統領の来訪（6月29日）

6月29日、コモロフスキ・ポーランド大統領はラトビアを訪問し、ベルズインシュ大統領と会談した。ベルズインシュ大統領はコモロフスキ大統領に、1888年に出版されたリボニア（現在のエストニア南部とラトビア）の歴史について描かれたアルバムのレプリカを贈呈した。

—日本との関係—

◆ラトビア大学で日本祭りを開催

5月29日、ラトビア大学人文科学部の講堂で、同大学で日本語学科を専攻する学生主催による「日本祭り」(CELEBRATE JAPAN)が開催された。同イベントではゲストとして招待された在留邦人によるお茶のデモンストレーションや、日本の伝統玩具、折り紙及び書道等のワークショップが併せて行われ、同大学の学生及び地域住民等約100名が参加した。



<お茶のデモンストレーションの様子>



<伝統玩具のワークショップの様子>

◆リガで落語の公演を開催

6月4日、国際交流基金の助成により、リガのラトビア大学において落語家の入船亭扇辰（いりふねていせんたつ）氏及び入船亭小辰（いりふねていこたつ）氏による落語公演が行われた。ラトビアでの落語の公演は今回が初めてであったが、会場は満席となり、最後まで笑い声の絶えない大盛況のイベントとなった。



<入船亭扇辰氏による落語>



<笑い声が溢れる満席の会場>

—その他—

◆性的マイノリティーの祭典「EuroPride 2015」の開催

6月15日から21日まで、ヨーロッパのLGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー）に関する祭典「EuroPride 2015」がリガで開催された。同祭典の期間中、メインイベントである20日のデモ行進のほか、国際会議や文化行事等、約50の関連行事が開催された。リガ市内でのデモ行進では、LGBTの人々とそのサポーター等約2千人が参加した。

以上

2015年6月の主な出来事

日付	【内政】	【外交】
1日		リンケービッチ外相アラブ首長国連邦訪問（～2日）
2日		
3日	ラトビア国会がペーヨニス国防相を次期大統領に選出	ストラウユマ首相ブリュッセル訪問、「欧州開発デーズ2015」出席 リンケービッチ外相訪仏（～4日）、OECD関係会合出席
4日		ロシアがラトビア産の魚製品に対する禁輸措置を導入 アルバニアにラトビア名誉領事館を開設
5日		
6日		
7日		
8日		
9日		リンケービッチ外相ブリュッセル訪問、EU・CE L A C外相会合出席
10日		ストラウユマ首相ブリュッセル訪問（～11日）、EU・CE L A C首脳会合出席
11日	ロシアによる禁輸措置で被害を受けたラトビアの魚加工企業に対する支援を定めた改正税法の可決	
12日		リンケービッチ外相フィジー訪問（～16日）
13日		
14日		
15日		ユールマラでバルト海地域のEU戦略に関する第6回年次フォーラム開催（～16日）
16日		リンケービッチ外相ニュージーランド公式訪問（～17日）
17日		
18日	経済危機により減額された年金の2016年からの増額を定めた改正国家年金法の採択	リンケービッチ外相オーストラリア公式訪問（～20日）
19日		
20日		
21日		リンケービッチ外相ルクセンブルク訪問（～23日）、EU外務理事会・総務理事会出席
22日		ストラウユマ首相ブリュッセル訪問、ユーロ圏臨時首脳会合出席
23日		
24日		リンケービッチ外相レバノン訪問（～25日）
25日		ストラウユマ首相ブリュッセル訪問（～26日）、欧州理事会出席
26日		リガでEU・中央アジア諸国教育大臣会合開催（～27日）
27日		
28日		
29日		コモロフスキ・ポーランド大統領来訪 欧州委員会、レール・バルティカ計画に対する5.4億ユーロの出資を決定
30日		ラトビアのEU議長国としての任務終了

ラトビア主要経済指標

ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した(1ユーロ=135円)

GDP

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
名目GDP	百万ユーロ	22,886	18,598	18,190	20,312	22,083	23,315	24,060	6,093	中央統計局
国民一人当たりGDP	ユーロ	10,509	8,682	8,673	9,866	10,859	11,575	12,052	-	中央統計局
GDP実質成長率	%	▲ 2.8	▲ 17.7	▲ 1.3	5.3	5.2	4.1	2.4	-	Eurostat

財政収支, 政府債務残高

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 1,001	▲ 1,693	▲ 1,479	▲ 718	▲ 303	▲ 212	▲ 347	77	中央統計局
財政収支対GDP比	%	▲ 4.4	▲ 9.1	▲ 8.1	▲ 3.5	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 1.4	-	中央統計局
政府債務残高	百万ユーロ	4,534	6,870	8,096	8,527	9,013	8,873	9,633	8,459	中央統計局
政府債務対GDP比	%	19.8	36.9	44.5	42.0	40.8	38.1	40.0	-	中央統計局

失業率, インフレ率, 月額平均賃金

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
失業率	%	6.0	13.2	14.5	12.0	11.4	9.0	8.3	7.8	中央統計局
インフレ率	%	15.4	3.5	▲ 1.1	4.4	2.3	0.0	0.6	0.5	中央統計局
平均賃金(グロス)	ユーロ	682	655	633	660	685	716	765	785	中央統計局
平均賃金(ネット)	ユーロ	498	486	450	470	488	516	560	580	中央統計局
家計一人あたり可処分所得	ユーロ	355	303	286	305	320	354	-	-	中央統計局

海外直接投資(FDI)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	8,126	8,072	8,184	9,360	10,258	11,472	11,998	12,448	中央銀行

貿易統計

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	6,302	5,126	6,680	8,535	9,871	10,021	10,229	2,422	中央統計局
輸入(CIF)	百万ユーロ	10,711	6,701	8,412	10,983	12,512	12,635	12,593	2,897	中央統計局
貿易収支	百万ユーロ	▲ 4,409	▲ 1,575	▲ 1,732	▲ 2,448	▲ 2,641	▲ 2,614	▲ 2,364	▲ 475	中央統計局

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
日本への輸出	千ユーロ	21,870	25,035	33,634	34,792	34,615	44,091	33,014	10,546	中央統計局
日本からの輸入	千ユーロ	27,369	8,667	7,463	16,975	14,050	12,044	13,473	3,513	中央統計局
対日貿易収支	千ユーロ	▲ 5,499	16,368	26,171	17,817	20,565	32,047	19,541	7,033	中央統計局

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
ラトビアへの輸出	百万円	6,693	2,043	3,458	4,050	4,908	5,054	5,240	1,267	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	3,599	3,696	4,609	4,587	8,761	6,658	6,235	1,328	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	3,094	▲ 1,653	▲ 1,151	▲ 537	▲ 3,853	▲ 1,604	▲ 995	▲ 61	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 Q1	出典
ラトビア→日本	人	1,296	865	875	495	807	996	1,365	379	日本入管統計
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	6,043	6,690	5,428	5,843	7,322	8,988	15,606	-	中央統計局